

自治連だより川越



- 発行一川越市自治会連合会
- 事務局一川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…平成30年7月豪雨災害義援金のお礼
自治会意見交換会を開催
シラコバト賞を受賞
初出場 宇佐美郁人君が日本一に
- 3面…ブルーベリーの苗木を配布
第31回防犯並びに暴力排除推進大会
第34回青少年健全育成川越市民大会
平成30年度川越市総合防災訓練を実施
- 4面…自治会連合会役員視察研修会
河越流鏑馬
小江戸川越ハーフマラソン2018
編集後記

川越市自治会連合会会長 本間 幸治



皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は川越市自治会連合会の様々な事業に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年5月30日、川越市自治会連合会総会において、荻野貴前会長の後を継ぎ、川越市自治会連合会会長の大役を仰せつかり、はや7か月が経過いたしました。多数の課題がある中で、これまで会長職を務めてこられましたのは、副会長をはじめ、自治会連合会役員の皆様、各自治会関係の皆様方のご支援とご協力のおかげでございます。深く感謝いたします。

さて、昨年は集中豪雨や台風の多い年でありました。7月には、西日本を中心に猛威を振るった豪雨災害が発生し、多くの方が避難所生活を余儀なくされました。お互いの助け合いは、自治会の大きな役割であるとの考えから、自治会連合会として義援金を募ることとし、各自治会の皆様にご協力をいただきました。皆様から心のこもった募金が寄せられました。誠にありがとうございました。

また、昨年9月には市と協力して、初の「新任自治会長研修会」を開催しました。11月には、自治会の加入促進等の課題に対し、意見や情報を交換する「自治会意見交換会」を実施しました。ご参加いただいた皆様からのご意見は、今後の活動の参考にさせていただきます。貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。今年も、自治会連合会の発展のため、全力を尽くしてまいります。引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

川越市長

川合 善明



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、自治会の皆様方には、日頃から市政各般に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨災害をはじめ、9月には北海道胆振東部地震（いぶりとうぶじしん）など、全国どこでも大きな災害が発生することを身にしみて実感いたしました。災害が発生した際、地域の皆様つながり・絆が重要であり、日頃の様々な自治会活動を通して相互扶助の精神を育んでいくことがとても大切であると感じております。

さて、昨年は猛暑が続きましたが、全ての小学校普通教室へのエアコン整備が完了し、中学校につきましても、今年の夏の稼働に向けて順調に進んでおります。また、川越駅西口市有地利活用事業の建設工事に着手し、2年後の賑わい創出を期待しているところです。

来年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を迎えます。本市はゴルフ競技の会場市として、世界中から多くの方にお越しいただくことが予想されます。今後とも川越市自治会連合会をはじめ、自治会の皆様には、市民の皆様と市を結ぶパイプ役であり地域コミュニティの核として、また地域のリーダーとしてご活躍いただき、なお一層のお力添えを賜りたいと存じます。

結びに、川越市自治会連合会がますます充実、発展されますとともに、本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます、ごあいさつといたします。

平成30年7月豪雨災害義援金のお礼

昨年7月初旬、全国的に広範囲で記録された台風7号及び梅雨前線等の影響により、西日本を中心に多くの犠牲者をもたらす事態となりました。このことを受け、川越市自治会連合会では義援金を募ることとし、昨年8月14日（火）から各自治会で募集を始め、最終的に2,174万5,472円もの浄財が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

なお、お寄せいただいた義援金は日本赤十字社埼玉県支部川越市地区に寄託し、全額が被災された方々へ届けられました。

自治会意見交換会を開催

昨年11月17日（土）、川越市南公民館講座室1・2号において、「自治会加入促進についての課題」、「役員のみ手不足についての課題」、「自治会活動成功事例」の3つをテーマに、川越市と共催で初の「自治会意見交換会」を開催しました。参加者は7つのグループに分かれ、意見交換・情報交換を行いました。

その後の全体発表では、各グループから様々な意見が出され、貴重な意見交換の場となりました。



全体発表の様子

シラコバト賞を受賞

今年度のシラコバト賞（埼玉県知事表彰）は、自治会連合会が推薦した下記の個人9名及び団体6団体が受賞されました。おめでとうございます。 順不同・（ ）は支会名

個人の部

- 松本博さん(高階) • 竹内勝代さん(名細) • 吉澤春治さん(高階) • 神山朝子さん(第5)
- 堅木貞夫さん(霞ヶ関) • 阪和代さん(高階) • 塩野キクさん(古谷)
- 栗本篤伯さん(第3) • 加藤正春さん(高階)

団体の部

- 川越市子ども会育成団体連絡協議会 • 上寺山まんぐり保存会 • 水久保自主防災会
- かすみ野たすけあいの会 • かほく防災ボランティア • かほく環境ボランティア

初出場 宇佐美郁人君が日本一に

スズキジャパンカップ2018第35回全日本総合エアロビック選手権大会全国大会が昨年11月4日（日）、東京都大田区総合体育館であり、ユース1男子シングル（11～13歳）に初出場した川越市立高階西中学校1年生の宇佐美郁人（うさみあやと）君が優勝の栄冠に輝きました。

宇佐美君は、幼稚園のときにエアロビックを始めて、演技をするのは4年前からだそうです。宇佐美君は「大会に初めて出て初優勝できたのでうれしいです。曲に乗ってすごく楽しそうに演技をする選手になりたいです。」と話しています。



優勝した宇佐美郁人君

ブルーベリーの苗木を配布



「大事に育ててくださいね。」

自治会連合会の環境美化推進事業の一環として、毎年恒例の苗木配布を実施しました。今回は、昨年11月4日(日)にウエスタ川越で開催された「健康まつり」において、150本のブルーベリーの苗木を配布しました。

当日は配布開始前から長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで、配布開始から15分で品切れとなりました。

第31回防犯並びに暴力排除推進大会

昨年10月23日(火)、ウエスタ川越大ホールにおいて、川越市・川越警察署・川越防犯協会・川越市暴力排除推進協議会主催による「第31回防犯並びに暴力排除推進大会」が開催され、各自治会から地域防犯推進委員をはじめ、多くの皆様が参加しました。

第1部は、各種の表彰が行われ、自治会や地域における防犯活動に功労のあった個人や団体の皆様、多数応募のあった防犯ポスターの中から優秀作品に選ばれた市内の小中学校生徒の皆様が受賞されました。

また、全国防犯協会連合会防犯荣誉銅章を受章された寺尾第1自治会山際賢美会長の提案により、800名を超える参加者が大会宣言を唱和しました。



続いて第2部では、埼玉県警察音楽隊による演奏、振り込め詐欺対策ドラマ映像の上映、参遊亭英遊さんによる防犯落語が行われました。

川越市内では犯罪被害は減少していますが、依然として振り込め詐欺被害が多発しております。日頃からお互いに声をかけ合って、被害の撲滅をめざしましょう。

第34回青少年健全育成川越市民大会

昨年11月10日(土)、川越市やまぶき会館ホールにおいて、「第34回青少年健全育成川越市民大会」が開催されました。

当日は、感謝状の贈呈、青少年育成活動顕彰(かしの木褒賞)・青少年地域活動顕彰(やまぶき褒賞)・少年の主張作文入賞者の表彰が行われました。

そのほか、居酒屋「てっぺん」創業者である大嶋啓介氏による講演、鈴木芽依さん(大東西中学校2年)による少年の主張作文最優秀作品の朗読、滝本勇翔さん(霞ヶ関西中学校3年)による川越市少年の翼体験発表がありました。



会場に鳴り響いた県立川越高等学校応援団のエール

平成30年度川越市総合防災訓練を実施

昨年11月11日(日)、霞ヶ関東中学校において、大規模な地震の発生を想定して、地震災害時の応急対策・復旧等を網羅する川越市総合防災訓練を実施しました。

市内に震度6弱の地震が発生したことを想定し、防災関係機関と霞ヶ関北地区自治会、霞ヶ関東中学校生徒、東京国際大学学生が協力し、シェイクアウト訓練、救出救護・応急救護所開設訓練、救援物資輸送訓練などを行いました。



防災関係機関、自治会、自主防災組織及び協力企業団体が一体となり、訓練を実施し、「自助・共助・公助」の協力連携体制の構築、地域住民及び団体の防災意識の高揚が図られ、有意義な訓練となりました。

自治会連合会役員視察研修会

昨年10月30日(火)、長野県松本市役所において、川越市自治会連合会役員を対象とした視察研修会を実施し、「住民との協働による地域づくり」、「松本市の町会活動について」に関して説明を受け、意見交換を行いました。



松本市役所での研修会の様子

松本市は、住民の主体性を大切にしてきた歴史があり、緩やかな協議体の設置促進、地域づくりセンターの設置という協働の仕組みづくりに取り組んでいるとのことでした。

翌日は、松代町へ赴き、NPO法人夢空間の松代のまちと心を育てる会から「住民参加のまちづくり」について講義を受けました。

2日間にわたる研修会は、参加者から多くの質問が出るほど関心度が高く、学ぶことの多い研修会になりました。

河越流鏑馬

昨年11月17日(土)、名細地区にある国指定史跡河越館跡で河越流鏑馬が開催されました。約3,400人の見学者の前で、疾走する馬上から射手が矢を放ち的中すると、歓声が上がりました。河越流鏑馬は、鎌倉時代に活躍した武士「河越氏」の館跡である河越館跡の周知を目的に行われています。上戸・鯨井自治会、民俗芸能団体をはじめ、上戸小学校区にある自治会のご協力を得て、盛況のうちに終わることができました。



小江戸川越ハーフマラソン2018

昨年11月25日(日)、「小江戸川越ハーフマラソン2018」が開催されました。

ハーフ、10km、FunRun(約4km)の3種目に全国各地からたくさんのお申し込みをいただき、大会当日は、約1万人のランナーが、小江戸川越を駆け抜けました。

ゲストランナーはシドニーオリンピック銀メダリストのエリック・ワイナイナさんで、ハーフの部に出場しました。FunRunのフィニッシュ会場である市役所駐車場では、元町一丁目の山車の軽快なお囃子により、大いに盛り上がりました。



また、ハーフ後半の鯨井中学校折り返し付近では、地元自治会を中心に組織された「小江戸川越ハーフマラソンを応援し隊実行委員会」の皆さんの太鼓や吹奏楽による応援により、ランナーの皆さんから大変励みになったと好評をいただきました。

なお、大会当日は、一番街周辺をはじめ、コース付近を中心に、川越市内で交通規制が行われました。規制区域周辺の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

編集後記

大人になると1年が過ぎるのが早いと皆さんがよく言われます。子供は一日の出来事一つ一つに感動があり、気持ちワクワクで過ごすから一日が長く感じられるようです。

私は地域の小さな出来事にも目くばり、気くばりをして、1年を長く感じられるようにしたいと思っています。

「自治連だより川越」は年4回の発行ですが、読みやすく、わかりやすく、そして感動を与えられるような紙面づくりをしたいと思っています。

皆様のご支援よろしくお願いいたします。

(K. K)